

質 疑 回 答 書
(その他本プロポーザルに係る質疑)

質疑 No.		区分	質疑事項	回答
1	募集要項	共通	対話結果の公表可否を不可とした場合、対話結果だけで無く、VE提案内容そのものも公表されないと考えてよろしいでしょうか。	対話において市が適としたVE提案のうち、個別の提案者のノウハウ等に係るものはVE提案内容そのものを含め公表しません。その判断においては、参加表明に係る質疑回答No.4の回答をご覧ください。
2	募集要項	共通	基本設計図のCAD図のデータをいただくことは可能でしょうか。	募集要項3(3)資格適合者には、希望に応じて基本設計図のCADデータを貸与します。
3	要求水準書	共通	P4【2受注者の業務概要 (2) 設計業務】において、工事監理業務は記載ありません。ウ (工) 計画通知等申請手続き業務の中に記載ある、必要な仮使用申請、中間検査、完了検査は工事中の対応になりますが、設計業務担当者として対応が必要ということですか。	工事監理業務は、別途発注となります。ご指摘の業務のうち、工事中の対応となる、仮使用申請、中間検査、完了検査の手続きについては、工事監理者の業務になりますが、手続きに必要な資料等の提供については、設計業務及び施工業務で対応が必要です。
4	募集要項	共通	P1【2本事業の概要 (3) -工- (ア)】に整備対象施設に係る実施設計業務を「設計業務」といっていますが、着工後の工事監理業務は含まないと考えてよろしいですか。	No.3の回答をご覧ください。
5	要求水準書	共通	P15【(5) 関係官公庁等への届出手続 ウ】にある計画通知の、審査については市原市が行うことになりますか。また申請料の納付は必要になりますか。	計画通知の審査は特定行政庁である市原市が行ないます。計画通知の申請手数料は不要です。(大臣認定等に係る費用は、別途必要となります。)
6	要求水準書	共通	P17【(1) 業務内容 ア- (イ)】にある電波障害の別途詳細調査とは、現地に調査車を出して調査することを指していますか。また計画建物による電波障害が発生した場合の障害対策費は本市の負担と考えてよろしいですか。	詳細調査の内容については、予測される障害の度合いに応じ、受注者と協議して決定します。また、要求水準書3(13)アに基づき受注者が工事に伴って行なうべき近隣対策を除き、計画建物により発生する電波障害が発生した場合の障害対策費については、契約書約款第31条第2項に定めるものとします。
7	要求水準書	共通	P21【実施設計図書等一覧】のリストの特記事項にある、CADデータをJWWで提出するとあるのは、DWG又はDXF変換したデータとすることは可能ですか。	JW-CADで編集・加工する際、文字化け等の不都合が生じないようにするためにJWWのデータで提出していただく必要があります。
8	要求水準書	共通	P26 (ケ) 監理事務所の面積、備品の具体的な指示はないとの理解でよろしいでしょうか？ある場合は具体的にご指示願います。	公共建築工事標準仕様書に準じ、実施設計段階において協議調整を行います。
9	募集要項	共通	P2【コ 本事業の管理】設計変更等が生じた場合のCMの役割、責任、権限についてご教示ください。(例：コストの決定権限者は市にあると推察できますが、CMの役割、責任及び権限の有無等)	CMは、要求品質等の確保やコスト、各種計画に関する検証や確認を通じて、市の補助者として事業管理支援業務を行います。要求水準書に記載されている『監理職員等』にCMが含まれます。

質疑 No.		区分	質疑事項	回答
10	様式	共通	見積書の内訳の提出とありますが、どのレベルまでの内訳になりますか。具体的にご教示ください。	数量及び単価が分かるよう、小項目まで記載してください。
11	仮契約書案	共通	第28条の「請負契約締結の日から12月を経過した後」とあるのは、仮契約時には「設計・施工仮契約書締結の日から12月を経過した後」に変更されるという認識で宜しいでしょうか。	請負契約締結の日は、「議会の議決に付すべき契約および財産の取得または処分に関する条例」（昭和39年市原市条例第5号）により議会の可決を得た日となります。
12	仮契約書案	共通	第44条の各会計年度における請負代金の支払限度額は各会計年度の出来高予定額をベースに想定すれば宜しいでしょうか。	最終年度を除き、各年度の支払い限度額は、当該年度の出来高予定額の90%以内と想定してください。
13	仮契約書案	共通	第46条3の各会計年度の部分払い可能回数は1回でしょうか。	各年度出来高予定額により、支払い回数が異なります。 5,000万円以上、1億円未満・・・1回 1億円以上、10億円未満・・・2回 10億円以上・・・3回 なお、最終年度を除き、上記の回数に加えて、年度末分として1回請求することができます。
14	評価要領	共通	『別表1 実績・体制評価項目と配点』現場代理人・監理技術者の評価基準『ウ』は、一級建築士と技術士の両方を持っている場合だけが、評価の対象となるということでしょうか。	評価基準『ウ』については、『一級建築士と1級建築施工管理技士の両方又は、技術士（建設部門）の資格を有する。』と修正します。

質 疑 回 答 書
(その他本プロポーザルに係る質疑)

質疑 No.		区分	質疑事項	回答
1	基本設計図	建築	工事種別が増築とありますが、本計画は既存建物への遡及は一切ないものと考えてよろしいでしょうか。仮に発生する場合その工事は見積対象外で別途工事という事でよろしいでしょうか。	防災庁舎は、既存施設とは別棟扱いであり、基本的に既存遡及は発生しないものと考えております。
2	基本設計図	建築	A01、02外装仕上げ及び内装仕上げのグレードが不明です。またビニル床シートA・B、クロスA・B・Cのグレード区分が不明です。特記仕様材料表（同等品）をいただけますでしょうか。	【添付資料1】にて提示します。
3	基本設計図	建築	A32～34各階の排煙及び換気の考え方が不明です。排煙及び換気区分図をいただけますでしょうか。	排煙に関しましては【添付資料2】にて提示します。 換気に関しましてはすべて機械換気を見込んでいます。
4	基本設計図	建築	A10、11立面図の凡例Cの範囲が見当たりません。該当箇所はなしと考えてよろしいでしょうか。	御理解のとおりです。
5	基本設計図	建築	A19～20階段室自然換気システム図の窓の設置位置についてAW幅4800の換気窓が階段1及び2の屋上レベルの東西壁面にそれぞれ1か所づつ合計4か所設置すると考えてよろしいでしょうか。	AW幅5400で6連程度としてください。設置箇所は合計4か所です。
6	基本設計図	建築	上記の窓全ての外部に風誘引版が付き、その外部にAL t 2.5曲げ加工・フッ素樹脂塗装焼付が設置されると考えてよろしいでしょうか。	御理解のとおりです。
7	基本設計図	建築	上記自然換気システムの給気側の考え方が不明です。各階東西面の外倒窓で手動開閉により給気するのでしょうか。または片引サッシの手動開閉により給気するのでしょうか。重力換気の給排気効果の確認資料がありましたらいただけますでしょうか。	東西面片引サッシによる手動換気です。給排気効果の確認資料は【添付資料3】にて提示いたします。
8	基本設計図	建築	A22EVかご仕様の床の石貼りが材料・貼付別途工事となっておりますが別途工事としてよろしいでしょうか。	本業務の対象工事としてください。
9	基本設計図	建築	A26外構撤去図の撤去リストA～Xの位置が不明です。場所がわかるプロット図をいただけますでしょうか。	現地確認と工事ステップ図によりご判断ください。
10	基本設計図	建築	座屈拘束ブレースがY1通り窓や、Y10通り窓および通用口扉と干渉しています。このままでよいと考えてよろしいでしょうか。	実施設計にてブレースを含め、開口位置・高さの調整を行ってください。
11	基本設計図	建築	免震ピットにRC造の点検用階段が自立していますが、上部免震建物の1階梁に干渉する考えられます。また、地震時に挟まれ等の危険があると思われれます。免震建物からつり下げ鉄骨階段としてよろしいでしょうか。	可とします。

質疑 No.		区分	質疑事項	回答
12	基本 設計図	建築	免震ピットにRC造のEV区画壁がありますが、成り立っていないと思われますので、免震建物からつり下げ形式と考えてよろしいでしょうか。	可とします。
13	基本 設計図	建築	既存エネルギーセンターへ屋外連絡路がありますが、既存建物の測量済みで、その結果に基づいて増築建物のレベルが決定されていると考えてよろしいでしょうか。	御理解のとおりです。
14	基本 設計図	建築	マシンハッチ蓋の仕様を御指示下さい。	既製品の大型フロアハッチです。
15	要求水 準書	建築	P9【(2) 既存エネルギーセンター改修 ア 外壁補修】の中にある「補修」とは、表面的な仕上げを指すもので、構造体の耐震性能の補強は求めないものと考えてよろしいですか。	御理解のとおりです。
16	基本設 計説明 書	建築	図A02 (5) 効率性や機能性の向上① で表現されている「可動間仕切」と「移動間仕切」の違いは何でしょうか。いずれもパネル分割された可動の壁と考えてよろしいですか。	可動：固定の既製間仕切 移動：可動のパーティション を意味しています。
17	基本設 計説明 書	建築	図A03 設計の概要 (5) 概算事業費②において、実施設計・工事監理費1.1億円とありますが、要求水準書の設計業務には工事監理は入っていません。実施設計業務のみで1.1億円と考えてよろしいですか。工事監理分が入っている場合はその内訳をお答えください。	工事監理分の費用を含んでおりますが、別途発注のため費用は公表しておりません。
18	基本設 計説明 書	建築	図A20 階段室自然換気システム図の窓形状が立面図と一致しませんが、これは形の参考という扱いとしてよろしいですか。	御理解のとおりです。 質疑No.5も参照ください。
19	基本設 計説明 書	建築	図A24 エネルギーセンター改修図で、既存建屋内に受水槽112m ³ を設置するにあたり、荷重増に対する構造補強は別途扱いでよろしいですか。又は現在の構造体は荷重に耐える仕様であると考えてよろしいですか。	設備用基礎を大梁間にかけて渡すことを考えています。 補強は必要ないと想定しておりますが、安全上支障のないように実施設計において検証してください。

質 疑 回 答 書
(その他本プロポーザルに係る質疑)

質疑 No.		区分	質疑事項	回答
1	基本 設計図	構造	要求水準書内にレベル2を超える地震動として、レベル2を係数倍とした地震動により、建物の終局状態を検討し、レベル2に対する余裕度の確認を行うとありますが、本確認内容は、時刻歴応答解析建築物性能評価業務方法書の対象外であり、大臣認定では審査されないと思われる。第三者による審査ができないため、レベル2に対する余裕度の確認は不要と考えてよろしいでしょうか。	余裕度の確認は必要です。
2	基本 設計図	構造	要求水準書内にレベル2を超える地震動として、レベル2を係数倍とした地震動により、建物の終局状態を検討し、レベル2に対する余裕度の確認を行うとありますが、具体的な係数倍の方法および係数を御指示下さい。	1.2倍と考えています。
3	基本 設計図	構造	要求水準書内に時刻歴応答解析を行い、大臣認定を取得するとありますが、官庁施設の総合耐震・耐津波計画基準には時刻歴応答解析のみです。確認申請（告示免震ルート+時刻歴応答解析を構造計算書に参考資料として添付）の方が期間や申請費用を短縮でき、更に、計画変更の際も迅速な対応が可能です。大臣認定は取得せず、確認申請（時刻歴応答解析による耐震安全性能検証は行う。）でもよろしいでしょうか。	本建物は免震部分に引き抜きが生じる構造のため、告示免震規定に該当せず、大臣認定を取得がすること必要です。
4	基本 設計図	構造	貸出資料に含まれている地震波形は、サイト波として時刻歴応答解析に用いてよろしいでしょうか。	可とします。
5	基本 設計図	構造	各免震材料は、メーカーが1社指定（免制震デバイス、昭和電線）となっていますが、他社（プリチストン、昭和電線、オイレス等）の同等品も使用可能としたほうが、納品スケジュール等で有利です。他社同等製品も使用可能としてもよろしいでしょうか。	可とします。

質疑 No.		区分	質疑事項	回答
6	基本 設計図	構造	免震ゴム支承の錫プラグ入り積層ゴム支承は鉛プラグ入り積層ゴムと比べて、1基あたりの剛性や降伏耐力が高いため、採用個数が少なくなり、ばらつきや品質の影響を受けやすくなります。それらの面に有利な鉛プラグ入り積層ゴム支承を採用してもよろしいでしょうか。	要求水準を満足できるのであれば、VE提案の対象としてください。
7	基本 設計図	構造	屋外連絡路をうける吊りブレースの詳細を御指示下さい。	図S10の二次部材断面表にありますT13です。
8	基本 設計図	構造	大梁・柱の継手位置を御指示下さい。	大梁は柱芯より1.2mとし、柱は2FL+1000とします。
9	基本 設計図	構造	基礎梁主筋の定着長さは基礎フーチング面からと考えてよろしいでしょうか。その場合、定着長をお教え下さい。	L1定着で考えてください。
10	基本 設計図	構造	S12免震材料を受ける基礎立上り寸法(BxDxH)を御指示下さい。姿図より、高流動コンクリートの範囲が250mmと考えてよろしいでしょうか。	H=250、BxD=BPL+500とし、高流動コンクリートの範囲はH=250でよろしいです。
11	基本 設計図	構造	S09土圧壁断面姿図の深さ寸法が軸組図と不整合です。正しい情報を御指示下さい。	軸組図を正とします。
12	基本 設計図	構造	S09基礎断面表において、基礎成はDの値以上かつ基礎梁天端まで延長するものとする(D1)は、D1部を増打ちと考えてよろしいでしょうか。もしくは基礎の高さを読み替えるのでしょうか。	増し打ちと考えてください。

質 疑 回 答 書
(その他本プロポーザルに係る質疑)

質疑 No.		区分	質疑事項	回答
1	基本設計図	電気	図E01に燃料は軽油と記載がありますが、他の図面はA重油です。A重油で考えてよろしいでしょうか。	A重油と考えてください。
2	基本設計図	電気	誘導灯は設置せず誘導標式で計画されています。全階有窓階と考えてよろしいでしょうか。	全階有窓判断で計画をしています。
3	基本設計図	電気	免震ピット内に自火報感知器が設置されていませんが、設置不要との計画で進めてよろしいでしょうか。	免震ピット内にも、感知器の設置をする計画としてください。
4	基本設計図	電気	エネルギーセンター新設の1M-ES1は既設キュービクルから供給することはできないでしょうか。	防災庁舎からの供給として考えてください。
5	基本設計図	電気	受領資料"エネルギーセンター設備機器類の更新履歴表「ene_cen_kaisyuu_check.pdf」"の図面下部に、「※改修・更新対象の考え方」と一文記載がありますが、劣化状態、耐震性など、エネルギーセンター内の機器類の更新については施工者側では判断がつかないため、今回工事外（別途）と考えてよろしいでしょうか。必要な場合は、改修範囲・対象数量、対象仕様等、見積可能な資料をご提示ください。 電気設備概要にはエネルギーセンター内工事として、ポンプ電源と自火報受信機への代表信号送信が今回工事と記載があります。	エネルギーセンター設備機器類の更新履歴表の内容については、別途工事と考えてください。
6	基本設計図	電気	既存引込柱から既存エネルギーセンターキュービクルまで高圧ケーブルの張り替え工事を行うとありますが、工事期間中の停電補償対策は不要と考えてよろしいでしょうか。	No.13回答を参照してください。
7	基本設計図	電気	高圧ルートの変更工事完了後、既存引込柱を撤去するとありますが、埋設配管、ケーブルの撤去は不要と考えてよろしいでしょうか。	埋設配管、ケーブルは撤去する計画としてください。
8	基本設計図	電気	E03図の引き込み工事では、MDFが1階EPS内設置とありますが、E30図の系統図では4階に設置されています。系統図を正としてよろしいでしょうか。 また、弱電引込配管も70φと54φで相違しています。系統図の通り54φとしてよろしいでしょうか。	E30系統図を正としてください。 MDFは4階設置です。 配管は70φ×4条としてください。

質疑 No.		区分	質疑事項	回答
9	基本 設計図	電気	E10図配置計画図において、新設引込柱から計画建物南西側を埋設する弱電ルートの用途と配管サイズ、本数をご指示下さい。	上記の通り 70Φ×4条としてください。
10	基本 設計図	電気	E52,53図の防災情報設備については一切の工事を見積範囲外と考えてよろしいでしょうか。	E52図は範囲外、E53図は図面の通りとし、本工事としてください。 また、電源、コンセントは範囲内と考えてください。
11	基本 設計図	電気	E05の入退室管理設備では配管対応のみで、機器、配線、機器取付調整は別途工事とありますが、E39では管理用PCは本工事とあります。E05のように配管対応で宜しいですか。	E39図を正とし、記載されている内容全てを本工事としてください。
12	基本 設計図	電気	E53、防災情報表示設備の注記欄に「～本工事への○○までを本工事とする。」とありますが、○○の部分の工事区分を御指示ください。	注記 1 を削除してください。E53図の記載されている内容を本工事としてください。
13	基本 設計図	電気	図E01 高圧引き込み工事の切替時に停電が発生しますが、停電時の既設建物への仮設電源は既存発電機による対応のみと考えて宜しいでしょうか。相違ある場合は対応の詳細を御指示願います。	既存高圧切替時には、ご指摘の通り、停電が発生いたします。停電時間中は、既存の発電機にて対応をするものと考えております。 但し、下記事項を遵守できる計画としてください。 ①実施設計・工事計画をするにあたり、停電時間を最小とできる計画を作成・実施してください。 ②停電計画については、事前に停電時間、切り替え方法等を綿密に市の担当者と打合せの上、市担当者と合意を形成できる計画としてください。 ③想定する停電時間は、3～6時間の範囲であると考えております。 ④工事期間中の各燃料の補給については、本工事としてください。 ⑤電気主任技術者からのアドバイスを遵守することとしてください。

質 疑 回 答 書
(その他本プロポーザルに係る質疑)

質疑 No.		区分	質疑事項	回答
1	基本設計図	機械	既存Iビルディングセンターの改修工事について、今回工事では既存の配管やダクト、ケーブル類との干渉は無く、図面記載位置に、機器類が問題なく据え付けられるという条件で見込みますがよろしいでしょうか。 機器類の移設・新設に伴って既存設備の改修（配管・ダクト・ケーブルの盛替等）が発生する場合は、対象範囲・対象数量・対象物仕様等、見積可能な資料をご提示ください。	配管の盛り替えが必要となります。 既存図を提示します。 【添付資料4】をご参照ください。
2	基本設計図	機械	既存Iビルディングセンターの改修工事について、ガスガバナは既存利用の計画になっていますので、既存が利用できるものとして見込みますがよろしいでしょうか。もしガスガバナの更新が必要な場合は、設置位置・及び仕様について見積可能な資料をご指示願います。 (万が一ガス使用量の変更に伴いガスガバナが既存利用できない場合は、ガスガバナの更新に伴い、更新期間中は長期間、ガスが使用出来なくなってしまいます。また、別の場所にガスガバナを設置してシステムを切替する事も可能ですが、その場合ガスが使用出来ない期間が短くなるものの、設置場所を別途用意する必要があります)	低圧ガス使用量が増えるため、既存ガスガバナの一次側から分岐し、屋外に新設のガスガバナを設置し、切替える計画としています。 ガスガバナユニット（中圧→低圧）、緊急遮断弁、ガスメーターを設置して下さい。
3	基本設計図	機械	既存Iビルディングセンターの改修を行う際、既存庁舎への給水・ガス・空調熱源・電源が一定期間停止する事になります。停止期間について仮設等での対応等が必要な場合は対応方法等見積もり可能な資料をご提示ください。	給水は土日での切替を想定しています。 空調熱源については中間期の空調停止時期に切替を想定しています。
4	基本設計図	機械	今回の計画によって、市民会館系統はIビルディングセンターからの給水・ガス・電気の供給は切り離されるなど、Iビルディングセンター内に、建物機能上は不要な機器類が出てくることになるかと思いますが、機器類の撤去は別途と考えてよろしいでしょうか。必要な場合は、対象範囲・対象数量・対象物仕様など、見積可能な資料をご提示ください。	配管・冷温水ポンプの撤去は本工事となります。 【添付資料5】をご参照ください。
5	基本設計図	機械	今回階高が4,000に対して、天井高さが2,700となっており、梁せい、スラブ厚等を考慮すると、梁下が150しかないため、各階換気ダクトのための設備スペースがありません。今回は梁貫通、天井を下げる等の対応にてダクトは通せるものと考えますがよろしいでしょうか。	可とします。 ただし、執務室の天井高さは、計画とおりとしてください。

質疑 No.		区分	質疑事項	回答
6	基本 設計図	機械	また、既存井戸は既存が利用できるものとして、改修は今回対象外と考えてよろしいでしょうか。もし必要な場合は、改修範囲及び改修対象物の仕様をご指示ください。	改修は、今回対象外と考えてください。
7	基本 設計図	機械	井水利用の計画に際して、井水濾過・薬注設備は不要と考えてよろしいでしょうか。必要な場合は、仕様及び機器類の設置位置についてご指示ください。	不要と考えてください。
8	基本 設計図	機械	雨水を再利用する計画になっていますが、雨水濾過設備、減菌装置は不要と考えてよろしいでしょうか。必要な場合は仕様及び機器類の設置位置をご指示ください。	不要と考えてください。
9	基本 設計図	機械	雨水利用用の加圧給水ポンプユニットは雨水利用タンク付近に屋外設置としてよろしいでしょうか。	可とします。
10	基本 設計図	機械	エネルギーセンター内の給湯配管の盛替えのための、既存衛生設備配管図を提示して頂けるでしょうか。	【添付資料4】に提示します。
11	基本 設計図	機械	空調負荷人員密度はM03図では0.15人/㎡ですが、M05図の諸元表の換気風量の人員密度は5㎡/人となっています。どちらを正とすればよろしいでしょうか。ご指示ください。	人員密度は5㎡/人を正として下さい。
12	基本 設計図	機械	負荷計算に関しては国土交通省監修「建築設備設計基準」となっていますが、建築設備技術者協会の「NewHASP」の利用も可能でしょうか。	国土交通省監修「建築設備設計基準」で計算してください。
13	基本 設計図	機械	M05図各室諸元表の記載の面積・天井高（容積）と、建築図の記載の数値が異なります。基本的な機器選定に際しては、M05図各室諸元表に記載の風量を正と考えてよろしいでしょうか。ご指示ください。	M05の風量を正と考えてください。
14	基本 設計図	機械	M01の既存の井水ポンプは、本計画の中水利用に対して、十分な能力があるものと考えてよろしいですか。	ご理解のとおりです。
15	基本 設計図	機械	M03の冷却水用ポンプの容量について、設計スベックの意図をご教示ください。	冷却塔の冷却水量から選定しています。

質疑 No.		区分	質疑事項	回答
16	基本 設計図	機械	図M01 1.給水設備計画 2)上水設備計画にて現庁舎・議会棟・消防棟への揚水管の接続はIビル [※] センター内にて既存配管へ接続を行い、以降は既存配管利用と考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	ご理解のとおりです。
17	基本 設計図	機械	図M01 1.給水設備計画 10)留意事項にて防災庁舎の高架水槽と記載がありますが詳細が不明です。水槽容量、材質、使用用途を御指示願います。	図M01 1.給水設備計画 10)留意事項の一番上の文章は「設計用水平震度は受水槽が1.5、揚水ポンプが1.0、加圧給水ポンプユニットが2.0とする。」として下さい。 また、一番下の「防災庁舎の高架水槽の二次側の重力系統と加圧給水系統はバイパス管で接続し、ポンプメンテナンス時等も使用できるようにする。」は削除として下さい。
18	基本 設計図	機械	図M01 井水、雨水の1次処理設備は見込みませんが宜しいでしょうか。御指示願います。	可とします。